

ときょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和6年11月22日 対象：4歳児

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【自然】

<テーマの設定理由>

・都心にありながら広い園庭があり、子ども達も日々自然と植物や昆虫等に関わる姿が多く見られる。日々何気なく触れている【自然】をテーマにし、再度子ども達に自然とは何か？を問いかけ再考し、普段見ている視点を変え、機器を用いて拡大してみることでなぜそのような形になったか？等自然への興味・関心をさらに深めて、発見を楽しめるようにしていきたい。

2. 活動スケジュール

- ・10.11月→身近な(園庭)自然を採取・観察し絵に描いてみる。
- ・12～2月→マイクロスコープで肉眼で観察した時との違いを意識し再度絵に描いてみる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・採取した自然物をすぐに調べられるように昆虫・草花・石の図鑑を各グループごと(6グループ)に用意する。
- ・白画用紙・クレヨン24色(人数分)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・【自然】とは何か？を子ども達に問いかけ、子ども達が考えている自然を答える
- ・子ども達と園庭に出て身近にある自然物を探索する。
- ・採取した自然物を図鑑で調べ観察する。
- ・クレヨンで絵に描く。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「葉っぱがギザギザしている」
- ・「むしくいがあるよ」
- ・「よくみると葉っぱに線が入ってる」
- ・「木をゆらすとどんぐりが落ちてくるんだよ」
- ・「葉っぱっていろんな色が混ざっているんだよ」



5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

・身近な自然を改めて観察したことで、普段なら見過ごしてしまうような気づきをたくさん発見できたように感じる。具体的には、葉の葉脈に気づき「線が入ってる」と表現したり、「この前と葉っぱの色が変わっている」と気づきを教えてくれる姿が見られた。また図鑑を多く用意できたことで、普段興味を示さない子どもも、自ら図鑑を持ち出し調べる姿が見られた。その中で新たな発見が見られ、身近な自然に対しての着眼点が広がって行くのだと感じた。